

日本子ども虐待防止学会第24回学術集会おかやま大会
日本財団スポンサーセッション

「養子縁組家庭支援の グッドプラクティスを考える」

座長	高橋恵里子(日本財団)
基調講演	和田 一郎(花園大学)
発表者	福井 充(福岡市子ども未来局)
	ロング 朋子(ベアホープ)
	近藤 愛(養子当事者)

1. セッションの企画趣旨

- ・国連子どもの代替養育ガイドラインでは、生みの親のもとに戻ることのできない子どもは、養子縁組等で恒久的な家庭を得ることが優先されている（パーマネンシー）。
- ・日本では子どもの福祉としての養子縁組の活用はこれまで低調であったが、2016年の児童福祉法改正により、養子縁組が児童相談所の業務として位置づけられた。また、養子縁組あっせん法の成立や特別養子縁組の民法改正も予定されており、今後は子どもの福祉としての養子縁組の更なる活用が予想される。一方で、国内で養子縁組家庭への支援体制が十分に整っているとはいえない状況にある。
- ・日本財団が実施した二つの養子縁組調査から、親の満足度や子どもの満足度・幸福感、また自由記述等を分析することで、養子縁組家庭を支援するグッドプラクティスについて検討したい。基調講演(30分)の後、パネリストから児童相談所の立場、民間養子縁組団体の立場、養子当事者の立場からそれぞれ発言をいただく(各15分)。

2. 日本財団による養子縁組家庭の調査の背景と目的

<調査の背景>

日本では、養子縁組成立後の養子縁組家庭の実態や生活状況については、それぞれの家族の事情やプライバシーの観点等より、実情を把握することが難しく、これまであまり調査が行われてこなかった。そのため、今後期待されている養子縁組支援政策の発展のための科学的根拠が乏しい。

<調査の目的>

1. 子ども(養子)とその父母(養親)の生活状況を明らかにすること
2. 今後の支援策などの検討を行うための基礎資料とすること

3. 日本財団が実施した養子縁組に関する調査

(1) 養子縁組家庭に関するアンケート調査

調査期間:2016年8～9月

発 送:263世帯

回 収:親 168件、子ども 89件(回収率64.4%)

協力団体:2団体

(公社)家庭養護促進協会大阪事務所、(特非)環の会

報告書URL: <http://happy-yurikago.net/2017/02/3775/>

3. 日本財団が実施した養子縁組に関する調査

(2) 子が15歳以上の養子縁組家庭の生活実態調査

調査期間:2016年12月～2017年1月

発 送:878世帯

回 収:親 294件、子ども 211件

協力団体:8団体

(公社)家庭養護促進協会大阪事務所、(公社)家庭養護促進協会神戸事務所、

(公財)全国里親会・各里親会、(特非)環の会(一社)命をつなぐゆりかご、絆の会、特別養子縁組グミの会、こっこの会

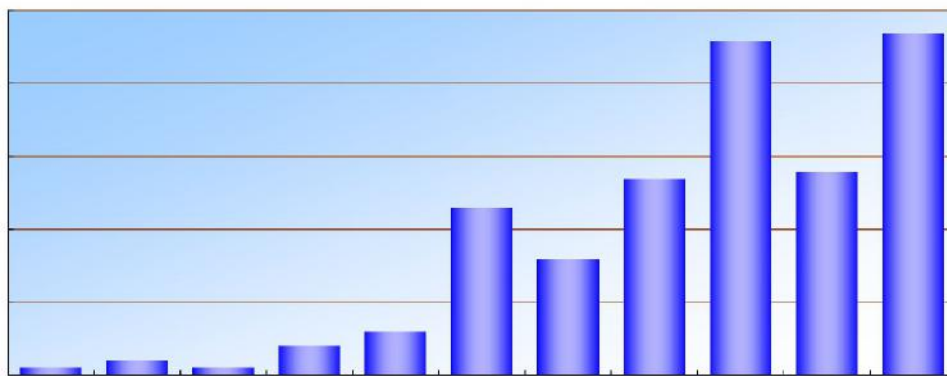
報告書URL <http://happy-yurikago.net/2017/04/4085/>

青年期以降の養子を対象とした調査としては国内で32年ぶり。また、児童相談所、複数の民間養子縁組団体、当事者団体の横断的な調査は、日本で初めて。

4. 子が15歳以上の養子縁組家庭の生活実態調査 主な結果より

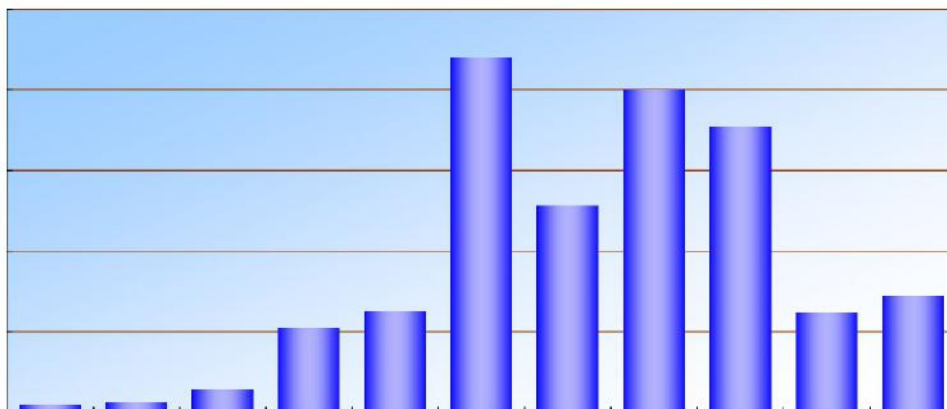
子の幸福度の平均は7.6 で一般平均の6.41より高い傾向にある。

質問: あなたはどの程度幸せか (n=2,790)



0% 100%

(n=2,790)



【「国民生活選考度調査」との比較】

4. 子が15歳以上の養子縁組家庭の生活実態調査 主な結果より

制度やアフターケアについての主な要望

【養親側】

- ・養子縁組が成立すると児童相談所などからのサポートがなくなるが、養育里親と同じような支援が欲しい。
- ・当事者の交流が大切だが、交流の場が少ない。
- ・生みの親や出自に関する情報提供の仕組みが必要。

【養子側】

- ・継続的なフォローが必要。悩みを相談できる人や機関が欲しい。
- ・生い立ちを知ったり、生みの親にあったりしやすい仕組みが欲しい。

5. 調査結果のまとめ

- ・9割以上の養親は子どもを育てたことを良かったと感じている。
- ・9割の子どもは親(養親)に育てられて良かったと感じており、親から愛されていると感じている。
- ・養子縁組で嫌な思いをした子どもは、4人に1人はいる。
- ・9割以上の子どもが自分が養子であることを知っている。
また、真実告知を受けた子どもの8割以上は、知ってよかったと思っている。
- ・養子縁組家庭で育った子どもは、児童養護施設や里親家庭出身者と比較すると、学歴が高い。
- ・養子縁組成立後の長期的な支援、当事者との交流の機会、出自を知るための制度の拡充等が望まれている。